

2023年11月22日

駐日イスラエル大使 ギラッド・コーヘン 様

高知県教職員組合

執行委員長 細木 久義

戦争の即時中止！

市民の殺りくやめて、即時停戦することを求めます！

貴国による人道にもとる市民の殺りくをやめ、戦争を即時中止してください。貴国のネタニヤフ首相に私たちの要求をお伝えください。

貴国のネタニヤフ首相は「怪物を根だやしにする準備ができている」と恐ろしい発言をしました。ガザ地区に住む人々は「怪物」ではなく 230 万人のかけがえのない命を持った人間です。

ガザ地区の地元当局は 11 月 13 日、先月 7 日からのガザ地区の死者が 1 万 1240 人になったと発表しました。このうち 4 割以上にあたる 4630 人は子どもだということです。イスラエル側の死者も約 1200 人と、双方の死者はすでに 1 万 2000 人を超えています。今も、この数は毎日増えています。これは、人道上、許されるものではありません。

私たちは、ハマスによる今回の奇襲攻撃を容認することはできませんし、そのことには強く抗議をするものです。しかし、過去の歴史を振り返れば、貴国が一貫して和平を求める国連決議と国際法を無視して武力による占領と入植を繰り返してきたことにも重大な責任があると考えます。また、結果として米国や日本政府をはじめ、国際社会にも大きな責任があると考えます。そうした点を踏まえいわゆる「パレスチナ問題」は、武力による報復としてのガザ地区への攻撃ではなく、国連など第三者の主導の下、冷静な話し合いによる解決を求めます。

すでに貴国による最終の避難勧告がガザ市民に発せられましたが、「天井のない監獄」といわれるガザ地区に安全な場所など存在しません。これ以上の殺戮を繰り返すことは、人道上からも避けるべきです。

報復戦争と市民の殺りくで「平和」をつくることができないことは、第二次世界大戦後の 75 年にわたる貴国とパレスチナの歴史がそれを証明しています。

貴国には、ただちに空爆と地上戦をやめ、即時停戦に踏み切ることを求めるものです。

以上